

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	第4回 嬉野市総合計画審議会		
開催日時	令和4年5月19日(木) 9:30～11:00		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎3階 3-2会議室		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	山口健一郎、筒井靖明、永田由美、坂口典子、 戸田順一郎、副島篤子、谷山佳世、井上晃太郎、宮崎杏美	
	事務局	総合戦略推進部長、企画政策課副課長、主任	
	その他		
会議の議題	①前回ご意見を受けての修正点について ②パブリックコメントの検討		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画案 (修正版) ・ パブリックコメントで寄せられたご意見一覧 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 前回議論を踏まえての修正点について 2. パブリックコメントの検討		
内 容	・前回議論を踏まえての計画の修正等について ・パブリックコメントの検討について		
審議経過	事務局	<p> それでは、協議事項に入りたいと思いますが、本日の審議会は、9名の委員さんにご出席をいただいております。 総合計画審議会条例第6条の規定によりまして、委員の半数以上の出席を満たしていることをご報告いたします。 それでは、嬉野市総合計画審議会条例で、第6条の規定により、審議会は会長が議長となるとなっておりますので、議長を戸田順一郎様にお願いいたします。 </p>	
	議長	<p> はい、ではよろしく申し上げます。次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。3番まで終わりましたので、次第4、基本計画の確認検討ということで、コメントの検討等を行いたいと思っております。事務局より説明のほどよろしく申し上げます。 </p>	
	事務局	<p> はい。パブリックコメントの検討ですけれども、一応この前は、ご意見があったところで、修正をしている箇所を確認を、まず、させていただきたいと思っております。まずですね、40ページのところです。結婚、妊娠、出産、子育てのページになりますけれども、1人1人の役割とか、地域の役割というところに、結婚のことが記載がされてなかったもので、その分の追加をしております。 次が、54ページですね。 医療との連携をテーマとした施設導入の検討というのがありましたけれども、これを新幹線まちづくり課に確認しましたところ、前期計画でずっと入ってきていたんですけれども、これは嬉野医療センターのことを指していたようで、もう既に出来上がっておりますので、この文言の削除をさせていただいております。 次が、68ページですね。消防防災のところですね。 3番のですね、「市民から信頼され期待される消防団を形成します。」というところで、消防団のPR・理解促進および消防団員優遇措置等による消防団員確保人推進というところで、前回、消防団の優遇措置によって、つつてるような感じがするというご意見をいただきましたので、もう単純に、理解促進および消防団員確保の推進ということで、優遇措置等によるというところを消させていただいて、全般的に取り組むということで変更させていただいております。 それと、次の4番のところですね。火災や災害に強い体制を構築しますというところで、消防本部消防署と消防団及び地域団体との連携強化という風に「地域団体との連携強化」というところ。この前ご意見いただきましたので、追加をさせていただいております。 そしてその次が、78ページですね。 商工業のところになりますけれども、ここの箇所はですね、前回ご意 </p>	

見をいただいている、事業承継に対する補助ができないかということで、検討いただきたいということで、ご意見いただいております、観光商工課の方とですね、協議を行いましたところ

県や商工団体等と連携した地元企業の経営支援及び地域産業の担い手育成支援というところで、事業承継についても取り扱っていくように今後考えていきたいということでありましたので、ここについては、文言等の修正は特にありませんけれども、一応ご報告をさせていただきます。

その次がで、94 ページですね。94 ページのですね、人権の箇所ですね。1 人 1 人の役割について、何度もちょっと堅苦しい言葉が多いとかですね義務感が多いという風なご意見をいただいておりますので、今度は「人権について知り、相手の 立場や気持ちを理解し認め合うよう努めます」という風なことに反映させていただいています。

色々考えたつもりではおるんですけど、これもまだ堅いなと思いつつですね、このように修正させていただいておりますので、ご確認いただければと思います。

あとは、97 ページですね。住民自治・住民参画のところの 1 番上の説明のところですね、ちょっと長いというご指摘をいただきましたので、こちらの文言を省きまして、少し短めに修正をさせていただきます。前回ご意見いただいたところの修正としては、以上のような形になります。

それではですね、今度は、こちらのパブリックコメントの分を見ていただければと思うんですけども。まず番号を振っていますので、上から順に、どういう風なことかということで、ご議論いただければと思うんですけども。

まず 1 番ですね。出産後の家事応援などで自宅まで来て、掃除や買い物、料理など、決まった時間内にできることをしてもらえるサービスが欲しいです。

夫婦の実家が県外でコロナウイルスの影響もあり、産後手伝いにこれないで困っている人はたくさんいると思います。何かしらのサービスがあれば、手伝いに来れなくても、不安はなくなると思います。ということで、ご意見をいただいておりますので、子育て未来課と協議をしまして、考え方としては、当然そのあたりも、ケアしていきたいということで考えてるけれども、すぐできるかどうかは別として、ということで話をしております。

それで、他市の事例になりますけれども、佐賀市なんかも、少しそういうサービスを導入しようとしているとかですね。

あとは、関東の方の町でもですね、この家事代行サービスを、少し補助を入れてやることによって、人口がちょっと増えたっていうような市もあるようですので、非常に好評だということがありますので、ここを、できればということで、40 ページの、妊娠、結婚、妊娠、出産、子育てのところの 2 番の項目、「妊娠・出産・産後の不安を解消して、安心して子供を埋める環境を整備します。」という風に、産後っていうのを付け加えさせていただきました。

具体的には、妊娠期間の相談、支援体制の充実っていうところで今後、そういうサービスが、補助なりですね、できるかどうかということを検討していきたいと思っております。

こういう風な市の考え方ではありますけれども、何かもっと強くしなさいとかですね、ご意見があればお伺いをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

議長

すいません。 進行にしたがって、今、パブリックコメントに関する対

	<p>応に説明いただきましたけど、その一個前に戻って、前回ここで議論していただいたことを今回案に反映していただいています。説明いただきましたので、それに関する意見、こういった意見があったと思うんですけど、この辺りどういうふう反映されてるのか、されてないんじゃないかみたいな点で、お気づきのことがあればご意見いただきたいと思うんですけども、あるいは、今回修正していただいたことについてでも結構です。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>すいません、冊子自体について、ちょっと今更な質問で申し訳ないんですけども、前期のこの総合計画のような感じとか、イラストとか、写真の入り具合とか、今回この通りにこのままなのか。またその冊子にする段階でいろんな色、イラストとか、写真とかですね、レイアウトみたいなところが、どんな風になっていくのかなと思って。実際、この後期の計画、パブリックコメント中に閲覧された方とか、文字がすごい多い印象を受けたっていう、そのことも伺ったりなんかしたので、私もこれとの比較っていうところで、あんまり見れてなかったので。見直しながら、以前いただいたのは結構柔らかい印象とか、イラストとか写真も入ってたので、そのあたりがどうなのかなっていうのをまず1点お伺いしたいです。</p>
事務局	<p>はい、これについてはですね、あくまで現在お配りしてるのはたたき台と思っていただければと思います。文字ばかりいっぱい書いてありますけれども、今後ですね、議会で承認をいただいて決定してから、印刷業者さんの方、何軒かお願いをしてですね、プロポーザル方式と言いますが、価格とかですね、紙面の構成の方法とかですねイラストどのくらい使うとかとか、そういったところを審査をして、なるべく、柔らかくて見やすいような、また、前計画とお同じようにイラストやら、写真やらを入れて、作成をしていく予定になっております。</p>
委員	<p>わかりました、ありがとうございます、</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます、その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、パブリックコメントの方に。続きまして。パブリックコメント1つ目に対して説明いただきましたが、その点につきまして、ご質問、ご意見をあればお願いします。</p>
委員	<p>質問なんですけど、その他市でやられているこのようなことが始まってるといのは、無料でやられてるところがあるってということですか。</p>
事務局	<p>はい、一部補助とかですね、無料とか色々あるようなんですけども、例えば生まれてから、子供が生まれられてから何週間以内とかですね、何か月以内とかで区切られているところもありますし、あとは、完全に無料でされているところはチケットを配ったりしてやられてるところもあるようですので、その辺りもですね具体的には色々担当課の方で、検討をまた加えながら、嬉野市ではどういう方がいいのかっていうところも含めて、今後実際に行うかも含めて、決めていければと思っています。</p>
議長	<p>ちょっと僕も確認を。このパブリックコメントをいただいた、パブリ</p>

	<p>ックコメントに関する対する答えはどんな形でどんな形式でされる予定。</p>
事務局	<p>このコメントについての答えはですね、このお審議会で今からお話をさせていただいて出てきた意見を踏まえて、今お配りしてる資料の中の市の考え方のところは、文章っぽい書き方というか、柔らかくない書き方をしていますので、その辺も踏まえた上で、嬉野市のホームページの方で公開をさせていただく予定になっております。</p>
議長	<p>はい、全体に対する考え方なんで、僕からのお願いなんですけど、2つあって、1つは、ちゃんと意見を受け止めてますよ、っていう答えを返してほしい。で、もう1つはあの書きぶりとして、検討していくっていうので、終わってしまうと、さっきの話としては、原課の方と話をして、前向きにこれからこの具体的な施策として考えていく可能性もあるみたいな話だったんで、もっと積極的に。書いたら、なんかこう実行しなきゃいけないっていうのがあるのかもしれないですけども、もうちょっと書いてもいいのかなっていうのが1つで。もう1つは、全てに関する事なんですけど、総合計画には載せられない、反映できないけども、今後政策として色々やっていくんだっていうのは、ぜひやってもらいたいですし、踏まえてもらいたい。その辺のメッセージとして、せっかくパブリコメント、市民とのキャッチボールをやってるんだから、見せてほしいなと思います。まあ、これはリクエストです。</p>
事務局	<p>はい、実際公開する際にはそのようにですね、内部でどうなっているか、どういう話をしたかっていうところも含めて、詳しく、もうちょっと書いてお出しするようにしたいと思います。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。1つ目に関してよろしいでしょうか。 はい、続けてお願いします。</p>
事務局	<p>はい、では2つ目ですね。 子育て支援センター(リュック)が毎日色々な場所で開催されるのは利用する方も困惑しますし、子供も毎日違う場所だと落ち着かないので、子育て支援センターの場所を統一するか、児童館のような建物を建ててほしいです。何人かいる子供のうち、小学生の子供がいると嬉野の支援センターは遊べないので、どの学年でも遊べる建物があると親は助かりますし、皆楽しく遊べると思います。 というご意見をいただいております。 こどもセンターリュックが、そもそも楠風館の方で元々あったりもしてたんですけども。今年度から、楠風館の方が指定管理者制度っていうことで、五町田コミュニティの方に委託をして運営をしていくという方式に変わりました。それで一時的に今、塩田公民館の方にて開催をしたりとかですね、場所が結構コロコロ、実際変わっているっていうのも事実です。それで、6月の議会の方にお諮りをしまして、また、楠風館が利用できるようにですね、予算措置をしたいということで、子育て未来課の方から聞いておりますので、今後は楠風館で統一して、こどもセンターリュックが開催されるものと思っております。 後はですね、児童館とかのハード整備というのが、どうしてもやはり巨額なお金がかかってしまいますので、なかなか一朝一夕にできるものではないかなとは思っています。それで、今後。今、庁舎のあり方の話とかも出ておりますので、それを絡めて、新しく嬉野の方に庁舎を作</p>

	<p>るっていうのは、確実に耐震の問題とかがありますので、そちらへのですね、機能の導入とかですね、現有の庁舎の方の空室を利用するとかですね、そのあたり、今後色々議論が深まっていくのではないかなと思いますけれども、児童館建てますよとかいう具体的なことは、今の段階では、総合計画には入れれないのかなということ、もう少し議論が深まってから、実施計画なりですね、なんなりができてくると思いますので、その時にまたお示しできればというふうに思っています。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご質問ありますでしょうか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>はい、リュッケの方は今後利用場所を、予算の方を検討していただいて、同じ場所で解消できるようにっていう形で、前年度からすごく希望してる方が多かったので、そういう風にも実際動いてもらえるとすごく助かるなと思います。</p> <p>で、その児童館とか色々な目的で利用できるような場所みたいなのが、やっぱり欲しいっていうのも、すごく子育て世代の方々から、意見が出てあったりとかして、なかなかちょっと難しいところではあると思うんですけども、隣の武雄だっけの市役所が新しくできて、ああいう場所に待ち合いスペースができて、いつでも利用できるみたいっていうところだったりとか、他から転入してこられる方も多かったでするので、そういったところで、以前の人の違っているところで結構感じられる方も多いのかなっていう印象があるので、ほんとにタイミングというか、今後、庁舎の統合とか建て替えていうところがあると思うので、ほんとに空きスペースだったり、新設だったりっていうところは考えて力を入れていただけたら嬉しいなっていうのが個人的な感想にはなります。お願いしたいなと思います。</p>
事務局	<p>はい、私たちもですね、住んでいて、武雄市役所ができて、明るくて非常にいいなと思ってる場所でもあります。ただですね、市民の方の声としては、一方では必要最小限の施設に抑えて、建設費を抑えるべきだというような意見を持ってらっしゃる方もいらっしゃいますので、そういった方の意見も聞きながらですね。今後、庁舎のあり方検討委員会の方ですね、実際の建設計画を立てられるときに、また議論が深まっていくものかなとは思っております。</p>
議長	<p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>つい先日、嬉野の友人と言いますか。お話して、その時にああいうのについてちょっと話になって、ああいうのを作る段階で、市民の方から意見があったら、なんかもっと変わったのかもしれないみたいな話をされて、今回のあれはもうできますし、あれば大丈夫なんですけどね。その市役所が移転することについて、ちょっとその件とは関係ないかもしれないですけど、どういう構造にするかみたいな時にもパブリックコメント、こういうパブリックコメントなりなんかで、意見が入ってくるような制度を取られるのかなっていうのがちょっと質問です。</p>
事務局	<p>私の方からお答えします。庁舎の、今後のあり方ということになるかと思いますが、塩田庁舎のあり方であったり、新庁舎のあり方につ</p>

	<p>いてはですね、色々な方のご意見をいただくということで考えておりますけれど、現時点では、どういったことでやってきますっていうところが、まだ言えないところになりますので、皆さんの意見、当然ですね、必要だと思っておりますので、またパブリックコメントになるのか、色々、ワークショップになるのか、前向きに考えているところです。</p>
事務局	<p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>すいません、私が最後までちょっと言い漏れじゃないんですけど、多分いただけるのはいいと思うんですけど、それが取り返しがつかない状態でのパブリックコメントの、要求だったら、まあ意味がないなと思ってまして。できれば、そこもそうですけど、もう国から補助金が出るから、決まってるってなってから、パブリックコメントもらっても多分ないですし、なんかその辺も含めてあればいいなと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます、確かにですね、おっしゃる通りだと思っております。今後ですね、基本計画の方、市庁舎関係を作っていきますので、その時点からという風に考えています。</p>
議長	<p>ありがとうございます、そのほかいかがでしょうか。はい、お願いします。</p>
委員	<p>すいません。全体的にパブリックコメントを見た時に、今回子育て世代からの意見がぱっと見た感じで多かったなって思ったんですけど、先ほど井上さんがおっしゃってたように、やっぱり市民の声を拾うタイミングとか、機会っていうのが、実際ほんとにこれでいいのかなっていうのを、パブリックコメントがあってる時もすごく自分の中でモヤモヤしていた部分があって、前回の委員会があった時に、やっぱり翌日からもうパブリックコメントがスタートするっていう段階だったっていうところで、そのあと私は個人的にですけど、地域のグループLINE だったりとか、SNS とかでパブリックコメントがあるから、ちょっと声を上げてほしいっていうのを結構発信してきたんですよね。子供センターとか、支援センターの方にも声をかけさせていただいて、届けていただいた冊子があるので、それにできるだけ利用者さんの目が通していただけたらっていうような感じでやってきたんですけども、やっぱり、これって嬉野市にとって1番大切な計画なのかなっていうのを感じていて、これだけ委員の方が集まって、やっぱり話をして、市民の声も聞いて進めていくっていうところで、すごく大変だけど、手間をかけるべき計画というか、段階を踏んで、していくところなんじゃないかなっていうのをすごく感じていて、もちろん、後期の計画でも4年度からっていうことでスタートしてるので、あの、やっぱり時間がなかったりとか、もう6月の議会に間に合わせなきゃいけないっていうスケジュールもあると思うんですけど、なんかほんとにそれで進めていって、ここから基本計画とか、実際の実施に動いたときに、やっぱり割り当てられた担当課とか、担当する方々がどれぐらい熱意を持って取り組めるかなとか、現状の声が実際聞こえてないとなかなか、的外れなところをしてみたりとか、ちょっと空振りに終わったりとかっていうことも出てくるんじゃないかなっていうのをすごく感じてまして。やっぱり、他市の総合計画とか、パブリックコメントとか見ると、4年度からの計画に合わせて、前年度の夏ぐらいの時期にパブリックコメントが終わってあったりとかで、前回ちょ</p>

	<p>っと質問させていただいた、市民の意見を踏まえるっていうところで、パブリックコメント以外に意見交換会とか、前期の時はしてあったっていうことで、それってすごく大事だったんだろうなと思ったんですよ。</p> <p>コロナになったから、そういう交換会ができなかった では、やっぱり市民の声を拾う機会がそれだけ減ってしまったっていうことも、あったのかなと思うので、これだけちょっとだけ発信しただけですけど、子育て世代の方が 関心を持って、声が届くのかなっていう期待とかも込めて、声も上げてくれてるところもあると思うんですけど、パブリックコメントが始まったけど、やっています、っていう発信が、周知っていうところで、期間的にそんなになかったのかなっていう印象も、やっぱりすごくあるので、もったいないと言いますか。その進め方っていうところですね。というのを、今からその検討していただける部分なのかどうかわからないんですけど、ほんとに始まってしまったら、なかなかどうにもこうにもっていうところもあると思うので、本当に市民に寄り添って声を拾うっていう機会を引き続き、計画の中でも、意見交換会とか、対話集会っていうのも把握されてはいるんですけども、実際に今度、実施の方に移っていく時の 前段階で意見を拾うかっていうのを、できるだけ持っていただきたいなっていうのが感想としてあります。この後期の前にも、2000人無作為に郵送して、アンケートに答えていただいているっていう結果もあるんですけど、あの結果だけだとちょっとざっくりしてて、意外と自由記載のところが多かったりしたじゃないですか、アンケートの結果も、だから、そういう声も回答率は半数くらいでしたけど、そこにそれだけ書いてるってことは、その中身も反映し、考慮していけるような感じで、やっぱり貴重な機会としてですね、声を拾う、考えていただいて、今後の大枠はもうこれで進んでいくのかもしれないんですけど、実際って、移る時の前段階の、声を拾う機会をしっかりと段階踏んでやっていっていただけると、やっぱりいろんなものにお金もかかると思いますが、取り組んでいく上でも大事なことになるんじゃないかなと思って、ここの2番目の質問ではないんですけども、1番大事な計画なのかなっていうところで感じるころがあったので意見をさせていただきました。</p> <p>事務局</p> <p>ありがとうございます パブリックコメント等については、市民の声を大きく聴く機会ということで、コロナもあつたりして取り掛かりが遅かったこともあって、おっしゃられるように、完璧ではなかった部分がありますので、今後計画をまた作る時になるべく早く取り掛かるっていうのは、心がけていきたいと思えます。それで、実施計画を作る際に市民の声を反映させたいっていうことではあるんですけども、実際ですね、広報広聴課っていうのが市役所であるんですけども、広聴についてはあまりされてる感じではないんですよ、今のところ。それで、まあ、人員の問題とか予算の問題とかもありますので、なかなか難しいところもあるんですけど、各課でそこは考えていただかないといけないところかなとは思っていますので、実施計画を作る際には、実際の現場の声をちゃんと聞いてくださいということではですね。一言、企画政策課の方から申し上げたいと思えます。</p> <p>委員</p> <p>はい、ありがとうございます。子育て世代に声をかけて、ちょっとでもこうやって意見が上がるっていうことは、やっぱり別の世代とか、その別の分野に関心がある方に対しても、 やっぱ投げかけたらいっぱ</p>
--	---

	<p>い出てくるものはあるんじゃないかなと思うので、できるだけ「知らなかった」で終わらないような対応をしていただけると、手間も時間も人間的なものとかあるのかなと思うんですけど、そこは大事にしていなければなと思います。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。今作っている、総合計画、出来上がったものに対してもいいですし、実施計画をどうするのかでもいいですし、それに対してどうやって意見を募って、もう1回市民の声を拾うのかっていうのを考えた方がいいんじゃないかっていう提案が1つだと思えます。もう1つはもっと大きな話で、そもそもこういった総合計画みたいなを作るときに、今のタイミングでのパブリックメントでいいのかっていうのは、次期総合計画なのか、同じような計画を作る時のあり方として、ぜひ考えて行くべき問題じゃないかなと。今のパブリックコメントのあり方が、日本でも同じですけども、とてもベストのように思えないんですね。それは、あのあり方だったり、タイミングだったりを考える工夫をするってことはあり得ると思うので、ぜひ宿題として受け止めていただければなと思えます。</p>
事務局	<p>はい。前期計画の時は基本構想のところから変えてますので、その時はもちろん内外から聴くことができたかと思うんですけども、今回後期計画というところで、細かい政策の考え方のところをパブリックコメントにかけてということになると思うんですけども、どうしてもこの周期で作るとなってくると、行政のトップの意見を入れた計画を叩き台にしないと、なかなかパブリックコメントを実行しても、前回と同じものを出すみたいな感じになってしまうので、期間的にも厳しいものがあつたのかなっていうところで思もします。けれども、おっしゃられるように、これがベストなタイミングで出したとも思ってませんので、なるべく市民の声を拾えるように、努力していきたいと思えます。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。では、次よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>では、3番目です。 今四人目育休中です。平日午前はよくリュックで過ごしており、意見募集を聞き、子育てする上での希望を記載します。我が家は、主人、長男三年生、二男年長、三男年少、四男4ヶ月の6人家族です。共働きしておりますが、家族が増え、もちろん出費は増えましたので、今求めることは経済的支援かなと思えます。先日知人が太良町に引っ越しました。就学前の子が二人います。太良町は子育て支援が充実してるとはよく聞きます。給食費無料、入学時御祝金、他市町村からの移住での住宅補助など、魅力がある旨話してました。今月議会便りの中に、出産時御祝金の話がありました。いただけるのは有り難いと思えますが、単発的ではなく持続的支援の方が個人的にはありがたいです。例えば給食費、一人目は通常料金、二人目半額、三人目から無料など、今の保育料のような、保育園に三人がいないと無料にならないような条件なしで出来れば、子供がたくさんいる家庭は助かります。お母さん方と話す、子供と何して遊ぶことを悩んでるお母さんは多いです。晴れの日には公園でよくすごしますが、雨でも、遊べるような、室内の公園みたいな、体を動かしながら楽しめるものが、あればとよく思えます。というご意見をいただきました。 それで、市役所の考え方ですけども、議会の中で、出産時祝金につい</p>

	<p>てのご質問ありましたけれども、担当課に確認したところ、そういったもので、助成する予定はないということです。あくまでも、継続的にやっていけるような施策を推進していくということで、医療費の高校生までの補助などを長期的な支援として、今後も行っていくつもりであるということでした。</p> <p>あとは、給食費の無料化ですね。太良町とかもやっていますけれども、太良町は完全に無料化だと思うんですけど、他の市町村もやるところあるんですけど、例えば6年生だけとか限定的な方法でやるところもあるようです。</p> <p>嬉野市の場合、完全に給食無料化すると、年間約1億円の費用がかかってくることになります。</p> <p>これを恒久的にやっていくっていうことで考えると、だいぶお金がかかってしまうので、そのあたりが、現在の段階では難しいものがあるのかな、というところが、担当課の言う率直な感想でした。</p> <p>それで、教育委員会の方ではですね。経済的な理由によって、就学が困難だと思われる、認められる児童生徒の保護者に対しては、学用品の補助、通学用品費、郊外活動費、修学旅行費、新入学用品費、医療費、給食費など就学に必要な経費の一部を補助しているのもありますので、経済的に困っているところに対しては手を差し伸べているような形にはなるといことです。</p> <p>で、参考までにですね。給食費の月額、小学生が4200円で、中学生4800円ということでした。</p> <p>けれども、元々払わないつむりの親子さんがいらっしゃったりとかいうこともあったりとか、今、玉ねぎの値段が上がってるように、給食費の方もなかなかきつところもあるようです。そういうこともあって、なかなか給食費を無料でと言えないところの1つなのかな、というところでは、ご理解いただければと思います。</p> <p>あと、室内公園のような施設に関しては、こどもセンターとか、子育て支援センターの充実という項目の中で検討していきたいと思っております。けれども、やっぱり児童館とかいうような大きな建物となると、ハード整備となると、なかなか予算もいることになりますので、先ほどと同じような回答になってしまいますけれども、庁舎のあり方を考える際に、新しい庁舎、今の庁舎の生かし方を考えながら議論が深まっていくものと思っております。</p> <p>議長 ありがとうございます。今の説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いしたいと思います。はい、お願いします。</p> <p>委員 はい。</p> <p>そうですね、3点あるんですけど。私も、この市の回答に近いような、一時金はただその場しのぎにしかないので、助成というよりは継続的な、恒久対応の方が嬉しいかなと思ひまして。で、前あげていたリテラシー教育なんですけど。こういうのを目的として、私は前回あげさせていただいたんですけど、例えば今、携帯はシンプルにどこでも契約できますけど、そういうのはどこで謳えるか、電力自由化、今ありますけど、どこがいいとか。そういうことによって、家庭の負担を減らすことによって、助成を行わなくて、家庭の家計がうくような。そういう教育とかをやっていくことによって、助成金ではなくて、別の形で恒久的な対応ができるのかなと思ひて、前回リテラシー教育を言わせていただいたので、そういうところを検討していただきたいなっていうのはあります。あと、私も子育て世代で子育てしてる</p>
--	--

		<p>んですけど、今困ってるってことは、皆さん、全ての方がそうか私はわからないですけど、今困ってるかと言えばそうではない。</p> <p>どちらかという、この子たちが高校生に行つて、大学生になった時に自分も大丈夫なのかなとか、やっぱそういうところが不安だったりしまして。例えばですけど、同じようなリテラシー教育かもしれませんが、今のおじいちゃん、おばあちゃん的生活ってどうされてるのかなとか、全く分からないんですね。年金がどれくらいあって、どういうふうな使い方、配分でやっててとか、実は子供からこのくらい仕送りもらってるんだっていうこととか全く分からないので、私たちが年を取った時にどうなるんだろうっていうのがわからないから、不安に繋がるのかなかと思ひまして。</p> <p>そういう、例えば嬉野のおじいちゃん、おばあちゃんはこういう生活してるんだよ、簡単な家計簿まではいかなくても、そういうのがあるだけでも、ちょっと安心できるかなっていう風なこともあったりします。この2つはただの意見です。あと、最後はちょっと質問に近いと思うんですけど、給食費が今、口座引き落としができるようになってるんですね。すごいありがたくて。毎回前は袋に入れてたんで、ちょっとめんどくさかった。それがなくなったから、すごい嬉しいんですけど、今度、手数料がちょっとこういう話をしてると気になってまして。多分大きな金額をやってるので、銀行さんの手数料。多分抑えてみたいな契約ができると思うんで、そういうのやられてるのかなと思うんですけど、例えば、毎月じゃなくて、1年間で払ってるとかあれば、そういうのも手数料減らせてると思うんですけど。</p> <p>またこの小学生の4200円、中学生は4800円のための手数料が発生してるんだしたら、確かに給食費をフォローして1億円かかると高いんですけど、この手数料と比べて、例えば他のところで払ってもらうけど、給食費は無料にして、手数料を抑えるみたいな方向性とかも。そんな簡単にうまくいかないと思うんですけど、そういうところがちょっと気になりました。</p>
議長		<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>はい、お願いします。</p>
事務局		<p>はい。金融リテラシーとかですね、いうところに関しては、生涯学習の分野にもなってきますので、そちらも含めて担当課の方は対応していきたいねっていうことで、話をいただいておりますので、今後そういう方向に繋がればと思ひています。</p> <p>2番目のあの、ご年配の方のお金のやり取りや家計簿がどうなってるかっていうことですが、これはなかなか難しいところではないかという気がします。というのが、どうしても若い世代の方が将来年を取って高齢になった時に年金を受け取る額とかもですね、だいぶ減ってくるのかなと。</p> <p>そこまで予想しながらっていうのも、なかなか難しいものがありますし、今の高齢者の方の世代っていうのは、畑をやっておられたりとか、そうじゃない方もいらっしゃるんですけども、環境環境によってだいぶ生活スタイルが違うのかなという気がしています。若い方は大体お勤めに出られる方が大半だったりとかしてはいますが、一般化と言いますか、そのおじいちゃん、おばあちゃんを一般的な例ということで例えるというのがなかなか難しいのかなっていう気もします。</p> <p>3つ目が、給食費の振替の手数料ですね。個人さんについていうことですよ。個人の振替手数料。</p>

委員	いや、個人のはかかってないはずですよ。多分。市側が一括でやってるはずなんで。多分そのどこからもらってるのかわからないんですけど、いったん給食センターとかが引き落とすんだしたら、そこにかかるはずですよ。どうですかね、私より接がある方がいらっしゃるかも。
委員	でも、給食費は違うでしょ。行政じゃないよね。
委員	そうかなと思います。だから、その辺は役所じゃないと。
事務局	通常の公共料金でしたら、引き落としとかの時は、その手数料無料だったりとかですね。いう措置があったりとか、コンビニ払いとかした時も、普通よりは安くでされてるような記憶はあるんですけど、給食費が知識を持ち合わせてなくてですね。そういった支払い方法も含めてですね、効率的にすることによって、いろんな恒久的な支援につなげていければ、っていうご意見はその通りだと思いますので担当課にも伝えたいと思います。
議長	はい、ありがとうございます。それでは次に進ませていただきたいと思います。お願いします。
事務局	はい、では4番ですね。室内で楽しく遊べる児童館が欲しいです。多久のあじさいという児童館の様に広くて安心して子どもをのびのび遊ばせられる場所があったらいいなと。土日空いていて天気を気にせず遊ばせたいです。というご意見いただきました。これも先程から、何度となくあのお話しさせていただいてますけども、なかなか大きな箱物を作るっていうのは、それ自体を嫌がる方もいらっしゃいますし、財源もかかることですので、庁舎のあり方を考える時にですね、合わせて議論が深めていければと思っております。
議長	はい、これは先ほど議論は出たんで、続けて、次に進めていただいてよろしいでしょうか。
事務局	それでは5番目ですね。2人子育て中の母です。後期基本計画読みました。上の子のときよりは子育て支援センターや講演会など、充実した市になってきていると感じています。(以前は「よいこあつまれ」も月に2回しかありませんでした。)でも、いまの子育て世代の親たちにはまだまだ物足りないと思います。まず、産後うつを未然に防ぐためにも、通いやすい子育て支援センターが必要だと思います。他愛ない会話ができるような、アットホームな場所があればそこから支援にもつながられるのではと思います。それから、子どもたちが思う存分走り回って遊べるスペースも必要です。もし、どこかの空きスペースを利用するのなら、十分な広さのある場所での開所を希望します。中、高校生も寄れるようなところなら尚よいです！嬉野で子育てできてよかったと、皆が言うような市になっていくことを願っています。ということでした。担当課の方と、この件について話したところ、子育て支援センターの先生たちについては、なるべく声をかけるように

	<p>していただいて、またのほほんボックスのご意見とかでも、好評で助かってるという意見もたくさんいただくということでした。ただ、こういう風にですね、通いやすくないと思われてる方もいらっしゃるということも現実ですので、この計画の中の、子育て支援センターの利便性の向上の項目の中で、今後、もっと改善を図っていききたいなということで回答いただいています。</p> <p>また、施設に関しては、また整備のことになりますけれども、またその中で、今後考えていければと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の点につきまして、ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>すいません、ずっと子育て関連のご意見が上がってるので、あまり関心がない方にとっては、そんな子育てのことばかり言われてもとか。例えば、経済的なことが意見として上がってるのだったら、なんで子供4人も産んだのかなとか、もうちょっと考えて産んだらいいんじゃないかなとか、多分いろんなことを感じる方もいらっしゃるんじゃないかなと思うんですけど。</p> <p>やっぱりこういう意見を見て思うのは、ほんとに経済的には厳しいから、お母さんも早く仕事に出なきゃいけないっていう状況が生まれてたりとか。実際、嬉野市って、多分復帰する期間がすごく早かったりとか、共働きしてるご家庭がすごく多いっていう印象があって。実際、保育園に預けるから、こういう給食費とかもかかってくるよねとかってなってくるので。でも時間の関係もあるから、パートじゃないと厳しいかなとか、夜勤はできないかなとかになると、子供たちを保育園に預けるために仕事に出てるみたいなの。そういうような循環がどうしてもずっとあるんだろうなって思ってた。で、この子育てに力を入れるって市長さんをはじめ、言ってもらってると思うんですけど、ほんとうに、何が子育てっていうところに関して必要なかっていうのをすごく意識してもらいたいなっていうのがあって。大卒のところ、そんなに話すことじゃないのかもしれないんですけど、産後うつを防ぐためにもっていうのも、核家族が増えて、出産後も子供と一緒に2人きりで家で過ごして、ちょっと育児ノイローゼみたいになって、会話もしないし、テレビつけるぐらいで、ご主人も帰りが遅かったら、大人と会話することがないみたいなの。そういうことって、結構もう頻繁になっていて。この2年ぐらい。コロナで特に外出する機会も減ってとかってなると、ネットとしか繋がってないみたいなの、ネット上しか入ってこないっていうところもあったりっていうのもあるので。今、この妊娠とか出産とか子育て、特にこの2年間でされてる方って結構孤独な子育てになってる方、特に初産の方っていうのは多い印象を受けて、そういうところがあるので。もちろん経済的になっていうところはありますけど。</p> <p>やっぱり子育てする、特に両親だったらどっちかっていうと、お母さんの方が子供と関わる機会が多いかなと思うんですけど、その家事代行のサービスの話も上がってましたけど、ほんとにお母さんへのっていうところを意識してもらいたいなっていうのがすごくあるので。</p> <p>子供のサポートっていうのは、支援センターに遊びに行ったら、子供も遊べとかあるんですけど、どうしてもやっぱりお母さんが、ポロっと会話ができるような雰囲気とか、環境っていうのは、ほんとに今すごく必要なんじゃないかなっていうのも、もうずっと感じて。自分も子育てしながら感じてるところもあって。</p>

	<p>世間話の中で出てくる悩みとかってというのが結構重要なことだったりってこととか、ほんとに悩んでるんだけど、市役所に電話をかけて、それこそ包括支援センターみたいなところに連絡して、悩みを聞いてもらうってところまでは、やっぱりハードルが高くて、そこまで動けないんだけど、なんか自分の話を聞いてもらいたいっていうお母さんはすごく多いのかなと思うので。実際今もリュッケとか子育て支援センターで、お母さん方には声をかけて関わっていただいていると思うんですけど、未来課を筆頭に市全体でも、少子高齢化ってということで、子供も産んでほしい、結婚もしてほしいっていうふうに投げかけてるのかなと思うので、そうなのであれば、子供が増えていくこととか、そこをサポートするっていうのは、核家族が増えているので、地域全体でっていう意識を大事にしてもらいたいなっていうのがすごくあります。産後でも、それに気づかないで、すごく体調を崩されたりとか。実際、全国的にも産後のお母さんの死亡率って、自殺がやっぱ多かったりとかってというのが現状としてあるし、それがやっぱきつくて、子供との関係性とか、愛着形成とかに問題が出てきたりとか、虐待とか、悲しいニュースになったりってということもあるので、ほんとに子供を中心って、子供も大事なんですけど、そこをやっぱ子育てしてるお母さんの、保護者、その子供の周りにいる大人へのサポートというか、なんでもかんでも、市役所で全部するっていうのは大変だと思うので、そういう家事代行のサービスとか。例えば、情報発信を積極的に市役所でもやってみるとか。その情報が届くように、尽力していただけると、情報がなかなか入ってこないっていう方も多いので、そういうところをこう意識していただけると、子育てが楽しくなることで、パートナーともこう良好な関係が築けて一緒に子育てして楽しくて、また子供が増えてっていう風にも。そんなうまいことにはいかないかもしれないんですけど、やっぱそこってすごく間接的なところだけど、大事なところなので。</p> <p>今、虐待とか発達障害とかもどんどんこう増えてるって言われてたりするので。親への関わりっていうところはですね、すごく大事にしてもらいたいなと思います。こういう声をもっともしかしたらあるかもしれないので、そこはしっかり受け止めていただけたらいいのかな。今で満足してもらってる人には、もちろんそれで利用していただけたらと思うので。</p> <p>ただ、こういう意見が上がってきたのを、しっかりと受け止めてもらえたら、ありがたいなと思います。</p> <p>事務局</p> <p>はい、多子世帯の経済的な困難さっていうのは、もちろんあるかなと思います。ただ、日本全体で言えることですよ。GDPが下がってきてるとか、1人当たりGDPが全然上がってないとかいうこともありますので、そもそも私たちの働き方とかも考えないといけないのかなっていう時代に来てるのかなという感じがします。多くの企業とかでは副業禁止ですけども、副業することによって、別に収入を得たりとかですね、そういう道を考えていかないといけない時代になってるのかなという感じがします。それにしても、やはり子供は宝ですので、どんどん育てていただける環境を経済的にも支えていくというのは、誰もが思ってることで、なかなか実現できていないことだと思いますので。担当課ではですね、部長とかもですね、積極的にはしたいけども、なかなか財源がなくてできないんだっていうところも言っていました。気持ちは持ってるんですけど、なかなかお金の問題で、自治体としても厳しい面もありますけれども、なるべく努力をさせていただきたいと思います。</p>
--	--

		<p>産後うつとかですね、話せる環境ですね、これについても実はあのこどもセンターとかでもオンラインでお話し会をしたりとかですね、お喋り会をしたりとかですね、色々取り組まれてることは、あるようなんですけれども、やはりそれが行ったことない方には、伝わってなかったりとかいうことがありますので、そういったところの情報発信も力を入れていかないといけないと思ってます。</p> <p>担当課とかですね、他にも、SNSとかいろんな情報ツールに詳しい人間がいるはずですので、そういったところと広報広聴課とかですね、連携しながら情報発信にも頑張っていければと思います。</p>
委員		<p>ありがとうございます。経済的にはもちろん今すぐには厳しいと思うし、そういう姿勢を見せていただいているだけでも全然いいのかなとは思いますが、やっぱり子育てっていうのが初めて親になったらわからなくて、ネットからの情報がなくて、やっぱりうまくできていなくて、自分を責めたりとか孤独になっていくっていうことも、ほんとにあたりするので、そういう現状をいろんな方にも知ってってもらいたいなとも思う。</p> <p>ほんとに人それぞれなんですけど、2人きりで家で過ごすのがしんどいから、もう早く仕事。もう1年で復帰予定だったけど、半年に繰り上げて復帰しようかな。もう、保育園預けちゃおうかな。それは、家計に収入としては入ってくるんですけど、親子の愛着形成っていうところで、影響してくる部分があったりとか、そういうところって、子育てのしづらさみたいなものを感じてる保護者さんもいたりすると思うので、どういう風に自分の子供と向き合っていたらいいのかわからないとか、自信が持てないとかですね。そういうのがあるから、ほんとに嬉しいのは、結婚とか出会いのところからつなげていって。他のところって見ても、出会ってっていうのって、あんまり見かけなかったんで、すごくこういうところも特徴的になってくるのかなと思うんですけど。そして、そこを少子化とかにつなげて、最終的につなげていくところもあるんだったら、やっぱり初めてできて、生まれてバタバタじゃなくて、妊娠中とかも、妊娠する前から、むしろ学生の頃からでも、子供へのっていうところとか、妊娠とか出産とか、そういうのが大変なイメージじゃなくて、みんなで、地域で支え合って、子育てもできるんだよみたいな印象が変わっていったらいいかなって思ってるので。私は個人的に子育ての環境が、嬉野で子育てできてよかったっていう風になってほしいっていうのをすごく思ってるので、ほんとにそういうところに対応していくことで、なんか関わりづらくなって思うような子たちが減っていくとか。それはもう大人の見方なので、ほんとに関わりづらくないのに、大人が勝手にそうやって関わりづらいつか、省いてみちゃうっていう傾向も、今の社会ではあると思うので、子供って本来こういうものなんだよっていうのを社会全体で知っていただけるように。子育てがしやすくなるように、なってくれたらいいなっていうのを感じてるので、未来課と市全体でそこはこう意識をしていただけるとありがたいなと思います。</p>
議長		<p>すぐ解決できるような問題ではなくて、引き続き、きめ細やかにどんなことできるのかを考えていただければなと思います。</p> <p>次に移らせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
事務局		<p>はい、では6番ですね。</p>

	<p>育休中子どもたちのふれあいの場があることはとてもありがたい、こどもの遊び場、親が育児の不安など話せる場所として支援センター、リュッケさんをいつも利用させていただいています。ありがとうございます。</p> <p>理想や希望になりますが記入させていただきます。</p> <p>○支援センターをもう少し広い場所で行ってほしいという気持ちがあります。</p> <p>身体を動かせるようになった子はおもちゃがたくさんあっても、じっとしてあそべるわけじゃないので発散しきれないところはあります。今は支援センターの外が駐車場、道路になっていて車が怖いので、少し外でシャボン玉したりお日さまを浴びる芝生スペースとかがあると晴れた日も過ごしやすい！また、家で出来ない遊びをさせられると利用しやすい（大きなブロック、木のボールプールなどなど）</p> <p>小さい子を連れていると、車に乗せて、駐車場に停めて、おろして…という移動が本当に大変です。だから一度に同じ場所で色々なことが済むとすごく嬉しいです。図書館と支援センター、児童館、学童そして親が少しホッと一息できるカフェみたいなスペースが敷地ではなく同じ建物の一体になっていると利用したい！です。</p> <p>いまは</p> <p>保健師さんや栄養士さんに相談するのが堅苦しいことになってしまって、もう少し気軽に話せる環境にしてほしい。</p> <p>支援センターの隣に常時保健師さんとかがいる、併設されてるとか、相談という形式ばったかたちではなく、もっとオープンな感じで話せると嬉しいです。</p> <p>また、お金がかかってもいいので、支援センターで一時預かりをしてほしい（白石町のように。）ファミサポはありがたいし、研修等もされていると思うが、なかなか初めての人とかとなると信用信頼の問題や不安もあるのが正直なところです。</p> <p>支援センターの先生スタッフさんいつもの場所でなら安心！と思える。育休中でも自分の病院に行くのに預ける先がなく我慢せざるを得なかったり、ちょっと一人にならないと行き詰まってしまうこともある。その辺のサポート体制が整うと子育てしやすくなる。</p> <p>○嬉野市には『小児科』『産婦人科』『皮膚科』専門で開業されてない…</p> <p>○市内の循環バスみたいなのがほしい（市役所→病院→スーパー→…とか。）</p> <p>車がないときに移動手段がなくなかなか出掛けられない たくさん書き込み申し訳ありません。</p> <p>他県から移住してきたので、比較してしまうところもありますが、またさらによりよい市になってくれるといいなと願っています。</p> <p>というご意見をいただきました。</p> <p>これも担当課とですね、色々お話ししました。</p> <p>子育て支援センターの改善ですね。これは、もちろんやっていく必要があるんですけども、今の体制では 常時、保健師さんとか栄養士さんを常設、設置できるような配置はできていないということでした。相談者の方がですね、頻繁に相談をしてくれるようになったら、また利用頻度が上がればですね、そういうことも考えていけるのかな、というところも1つあるかなと思います。</p> <p>卵が先か鶏が先かとかいう話じゃないですが、たくさん利用していただかないと、当然、市役所としても、力を入れることができないというところもありますし、情報発信ができていないところもあると思うので、利用していただきたいというのがありますけれども、その辺も</p>
--	---

改善をしながら、市民の方にもですね、ハードルと思わないで、ちょっと勇気を出して利用してみるとかですね。友達にそんな怖いところじゃないよ。一緒に行こうとか、声をかけていただいたりとかですね。

市民もですね、市役所もですね、一緒になって、子育て環境が良くなるように動いていけたらと思います。

ファミリーサポートセンターの改善ですけども、これもですね。今現在も、支援センター内では、ファミサポさんが子供を預かるとかいう風なことの対応をしているということです。おそらくこの書かれてる方は、そういうことをご存じなかったのかな、というところが、担当課の率直な意見でした。なので、そこら辺もですね、情報発信がなかなかできてないのかなと。

で、初めてファミサポさんに預ける時に不安があるということでしたけれども、これも1回対面してから、お話を一緒にしてもらってから、実際預けるというステップのようですので、この辺りもですね、実際なかなかそういったところの情報もですね、伝わってないのかなということで、情報発信をもちっと強化していきたいということで、回答がありました。

で、嬉野市には小児科、産婦人科、皮膚科専門で開業されていないというところですけども、なかなか医療の問題となるとですね。個人病院の開業の問題となると、市役所が手出しをできるところではなくなってくるので、難しいかなとは思いますが。実際ですね、嬉野医療センターの方に、小児科・産婦人科・皮膚科入ってますけども、初診料とかですね、5000円とられたりとかしますんで、そういったこと言っておられるのかな、という気はします。けれども、実はですね嬉野市は、市で比較すると病床数全国1位なんですよ。で、人口1人当たりの医師数も全国28位っていうことで、医療としては、実は非常に充実している市の部類になるのかなと思います。

利用しやすい形態の病院がなかなかないというのは、1つ問題かもしれないですけども、市が実際に手を出して何かをやるとなるとですね、どうしても効率的にやる必要があるんで、皮膚科単体で呼んできたりとか、小児科単体で呼んできたりっていうことじゃなくて、白石の共立病院みたいに、総合病院になってしまうんですね。かたちの的には。そうすると、もう医療センターと機能がかぶってるので、もうわざわざ立てる意味もないのかなっていうような結論になってしまうのかなと思います。そのあたりはご不便をおかけしてるところはあると思いますけれども。国が推奨しているように、まずはかかりつけの病院に行っていただいて、紹介状をとっていただいて、医療センターを利用していただければ、初診料の5000円はたしか払わないでよかったのかなと思いますので、そういったところの情報も含めて医療費の情報を発信していければと思います。

それで、循環バスが欲しいということでございましたけれども。これは、新幹線まちづくり課の方が担当ですので、聞いてみました。

市内循環バスについては「乗り合いバスなどの地域公共交通の充実・利便性の向上と」という項目がありますので、そこで何らかの対策をしていきたいということでした。

まだ計画段階ですけども、嬉野町地区はですね、新幹線駅とか、インターチェンジを循環する、コミュニティバスの実証実験を検討中であるということでした。

塩田町地区はですね、デマンドタクシーと言いまして、タクシーの良さと、バスの安さを組み合わせたような、電話かけたら来てもらえて、あいのりタクシーみたいな感じの、デマンドタクシーというのがある

	<p>んですけども、その実証実験を計画中で、やるってということで返答がありました。どちらにしてもですね、やはり、市民の皆さんの利用がないと、実証実験を継続して実用化できないってところがありますので、皆さんに情報発信をしっかりとってですね、なるべく利用していただけるように努力していきたいと思います。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いしたいと思います。はい、お願いします。</p>
委員	<p>はい、先ほど見ていただきました循環バスの関係なんですけど。私、高齢者の担当をやっておりまして、今、子育ての方から言われていましてけれども、高齢者の方もこのことで買い物とかが不便を感じていらっしゃる方が多いんですね。そうしますと、駅からどこかへ行って感じで、市役所としては、考えてらっしゃるということなんですかね。</p>
事務局	<p>はい、嬉野町地区はですね、主要路線で既にバスが走ってたりとかします。ただ使い勝手が、そこまで便数もないですし、1回集落の方から嬉野の町に来ていただいても、その先の、次の病院に行って、スーパーに行ってというところの足がなかったりするんで、その部分をカバーできるように、インターチェンジとかですね駅前を起点として循環バスを作っていくということを実験しようかなってということで計画しているようです。</p> <p>で、塩田については、まあ地形的なものもあって、循環バスっていうのがなかなかしづらい地形であったりとか。他のもですね、既にバスが走っている路線と競合したらいけないとか、色々制約があったりしますので、その辺りについては、利便性が、1番使ってもらいやすいように、デマンドタクシーでということで計画をしているようです。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございました。なかなか難しい問題だと思いますけれども。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>すいません、開業されてないってということで、このパターンが、他県から来ているってことなので、結構、転入されてくるご家庭に多いんですけども、嬉野は、どうしても小児科とかっていう病院がやっぱりなくてですね、なんとか医院っていうのはあるんですけど、そこで、転入されてきた時に、子供が体調を崩した時に、どこにかかったらいいんだろうっていうので、探されたりとか情報が欲しいっていう方が多いみたいなんですよね。</p> <p>今回のやつも情報発信がっていうことだったので、1番転入の方が来るところが市民課だとしたら、そういうところで、病院や子育てに関連するような、病院マップだったりとか、そういうものが準備できないんだろうかっていうことで、提案をさせていただいたことも以前からあるんですけども。こうやって声も上がってるので、できたらそういうところも検討していただけたらありがたいなと思います。</p> <p>実際、かかりつけ医を持っておきたいっていう保護者さんもいらっしゃるし。予防接種がどうしてもあるので、どこの病院でだったら、予防接種が受けられるんですかっていうようなことで、多分、支援センターとかリュックの方でも尋ねられることもあるかなと思いますの</p>

	<p>で、なかなか病院で独自のホームページがあるところもあれば、地図が出て電話番号が出てっていただけだったりすることもあるので、どこに行ったらいいかわからないっていうようなことに、転入の方は特になられるのかなっていうのがあるので、そこは、情報発信っていうところでは、ファミリーサポートもできるだけ利用していただきたいってことで、嬉野は特に無料券の配布などもしてあるし、安全に安心して、預かりができるようになっていう形で、あの活動をしているので。</p> <p>でも、やっぱりご存じない方がいらっしゃるし、知ってもらうために、どういう風に動いたらいいかわからないってところも、実際動きとしてあるみたいなので、できたら積極的にそういうところの情報発信に関しては検討していただけたら、ありがたいかなと思います。</p> <p>そもそも、ちょっと子育て支援センターの場所がわかりづらいって言われることも結構今までであったので、市役所の一階の一角にあるのでですね。そういうところも含めて知っていただけたら、というところがあるので情報発信のところは検討をお願いしたいかなと思います。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>お医者さんの地図についてはですね、私も 実際に住んで、小さい頃から普通のなんとか医院に行っていて、待ち時間長いなと思ったりとか、別の先生のところに行ったら、めちゃめちゃ撰生しろって言って怒られたりとかですね、そういう、いろんな生の声も反映できるように市民の方たちと一緒に、地図ができたなら素敵だなという風な思いはありますので、健康づくり課か、子育て未来課なのかに打診をしたいと思います。</p> <p>情報発信については、やっぱりそこが1つものすごく今回の市民の方も言っていたように、ネックだと思っていて、市長の方もですね、情報発信しっかりしたいという思いはあのありますので、広報広聴について、全体的に情報発信力のアップというところにつなげていければと思います。</p>
議長	<p>あの、今の話ですけども、ひょっとすると情報発信できるのは、市役所だけじゃないのかなと思います。市ができない情報発信っていうのを、民間の力で やられるのも、市だとなんか、市がおすみつき与えていいものなのか、みたいなことがあると思うんで、是非。もうちょっと自由な立場での情報、市民からの情報、さっきの医療の話とかありえるのかなと思いました。</p>
委員	<p>参考になるかどうかわかりませんが。観光協会の「のほほん情報局」ってあるんですけど、その中にも医療関係の問い合わせ先は乗ってるので、もし利用できるような利用していただいていた方がいいかなと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。多分、病院とか見つけても、小児科って書いてないから、ここに行っていないのかなっていうのとかも、嬉野に住んでいらっしゃる方は、なんとなくご存知だったりするんですけど、転入の方が、そこらへんが戸惑いが見られるのかなっていうところがあったのでですね。転入の方が来るとなると、市役所でとなると、一番は市民課にちょっと置いてあると、それだけ持っていってもらうと、子育てにこれが役立つみたいなのがあるといいんじゃないかなっていうところがあったりとかもしたので。いろんなところで情報が取れるっていうことが、転入してきた方に伝わるような。市民課の人が全てを説明できるとかじゃなくて、例えばその情報局を見るといいよみたい</p>

		<p>なこととか、このパンフレットを見てもらうといいよとかってというような媒体とか、そこを伝えられるような環境にしてもらえると、これは子育てに関してだけのことではないのかなとは思いますが。だったらいいなと思います。</p>
議長		はい、ありがとうございますでは、次はいよろしいでしょうか。
事務局		はい、では7番目ですね。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊び場の充実は、とても大切だと思います。高校生まで利用可能な、天候に関わらず、ボール遊びや体を使って遊べるスペースや、小さい子や絵本、ままごとなど安心して遊べるスペースがある、遊び場がほしいです。 ・遊びスペースに隣接する、図書館があるといいと思います。子どもが遊ぶスペースに豊かな図書が、あるといいと思います。 ・産後支援 コロナの関係もあり、実家の支援を受けられない家庭も多いです。そのような家庭に、家事支援や育児支援の制度があるといいなと思います。 ・産前支援 コロナ禍で、パパママ教室の開催が激減し、産院から退院後パパママたちの苦労を、耳にします。少人数で、助産師さんなどのサポートを受けられる機会が、あるといいと思います。 ・語り合える環境 コロナ禍の中、孤立する子育て世代。関係性の貧困が、進んでいるように感じます。当事者同士で語り合える環境が必要だと思います。昔のように、みんなが勝手に喋って仲良くなる時代ではないなあと感じます。誰かが、環境を整える必要性を感じます。 ということでした。 これについては、子育て施設については、先ほどからお話しさせていただいてるように、今後議論が進んでいけばと思います。 産後支援については、また重複するところもあると思いますが、家事支援とかですね、そういったところを今後考えていきたいということで、担当課の方からは聞いておりますので、なるべく進めていけたらなと思っています。 パパママ教室ですけども、過去にですね、実は、市で開催したことが何回かあるようですけども、全然人が集まらなかったということがあったようです。 これもおそらく情報発信が不十分だったんだろうというところもありますし、市民の方もその時は産院とかで受けてるので、わざわざ来る必要ないかなと思われていたところもありますので、これもお互い声をかけながらですね、情報発信を増やしながらか進めていければと思います。 語り合える環境についてもですね、オンラインのお喋り会も実施していたようですので、そういったところをなるべく利用していただけるようにですね、声かけだけだったり、情報発信だったりということを進めていければと思います。
議長		はい、ありがとうございます。この件について何かございましたら。
委員		こういう教室の開催とか、気軽に話せる場所っていうのが、ほんとにお母さんたちも感じてるように、少なくなって、人と関わる機会がど

		<p>うしても減ってるっていう状況が今あるんですけども。完全に個人的なことではあるんですが、私が3年ぐらい前から、お母さんたちが集まるサークルを始めまして、2019年の6月からスタートしてるんですけど。もう、こじんまりと1回に2、3人、2、3組の時もあれば10組ぐらいいらっしゃる時もあったりとか、それこそこのコロナ過のなかでも、この前の12月は、嬉野に初音荘っていう旅館があるんですけど、そちらの宴会場とかを貸し切って、クリスマス会をして、その時は20組弱の親子の方と、あと地域の子育てをサポートしたいっていう方が、協力して参加してくれてっていう風にして、こじんまりとですけど、民間でそういうのを私がやってみたいと思って、今やってるんですけども、なんかほんとに話ができる空間というか、少人数で会えるだけでも全然気分転換になったりとか、実際嬉野市で赤ちゃん訪問をしてくれてる助産師さんとかにも、参加をしていただいて、お母さんたちが、例えばおっぴいのトラブルとか、子供のことで気になることがあるときに、助産師さんが身近にいて話ができるんだよっていう風な環境を整えたいと思って、そういう風に助産師さんに参加してもらったりとか 実際に支援センターとかリュッケさんとかとも一緒に、合同でサークルを開催させてもらって、できるだけ子供たちの交流とか、声を聞く機会を増やしたいと思って、今やり始めて3年になるんですけど。どうしても私も完全に個人で、民間でやることでもあるので、なかなか周知を図るっていうところが、なかなか追いつかないところがあって。そこはもうどなたでも参加大歓迎っていうことでしてあって、全然お子さんがいらっしゃらない方も参加されたりとか、地域で子育てを応援したいっていう方が来てくれて、子供さんたちと遊んでくれる間にママたちにはちょっとお話をしてもらったり、ちょっとワークをしてもらったりっていう感じでイベントを開催したりって、ほんとにこじんまりとやってきたんですけど。そういうのを使ってもらえたらというか、私はそういうのをやってるので、知ってもらえたら嬉しいなというのは、ほんと個人的な感じにはなるんですけども。そういう活動してるので、情報までに。</p>
	事務局	<p>はい、民間で素晴らしい活動されてらっしゃる方、たくさんいらっしゃるとお思いますので、子育て分野もそうですし、その他の分野もですね。 行政だけで進めようとせずにですね、お互い補いあいながらやっていけるように、いろんな課に、注意喚起じゃないですけども、助言をしていきたいとお思います。</p>
	議長	<p>はい、ありがとうございます。大事なスタンスだと思います。次に移らしていただければよろしいでしょうか。はい、では8番目をお願いします。</p>
	事務局	<p>8番目ですね。 ◇子育て支援センターの利便性の向上 支援センターの場所、設備等の検討してほしい。 ・子どもの遊び場（乳幼児、就学前の学童、小学生以上など分けて） ・食に関することを学べる場（離乳食、アレルギーについて、親子クッキングなど） ・図書館 ・ファミリーサポート、ヘルパー派遣などの託児、育児サポートが受けられる場 ・不要なベビーカーやチャイルドシート、その他育児グッズを集めて</p>

	<p>貸し出す場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マタニティヨガ、マタニティビクス、ベビーマッサージをする場 ・カフェ（ベビーカー、車椅子でも利用できる） ・心の相談室（心理カウンセラー等専門家と話せる） <p>こういった場所が一箇所にまとまっている施設がほしい。子育て支援センター＝『妊娠・子育て救急室』のような感覚で利用できたら良い。</p> <p>子育て支援センターは出産育児に不安をもつ人にとって重要な場所である。『何か不安があってもセンター（リュック）へ行けば相談できる、解決策が見つかる』と思いこれまで利用してきた。</p> <p>双子を妊娠した時もリュックのスタッフの方々が情報の提供、子育て講座の開催など尽力してくださった。そのおかげで出産、育児の不安が減り、穏やかな気持ちで子育てをすることができている。</p> <p>感謝の気持ちでいっぱいです。今後たくさん利用したいと考えていますので、よろしく願います。</p> <p>という意見をいただきました。</p> <p>で、これは色んなサービスが欲しいということで入っていたかと思えますけども、中には、もう、既に市役所とかリュックとかでもやるようなこともあるようです。</p> <p>そういったところで、やっぱり情報発信が十分にできていないのかな、ということもありますので、より一層、届くような情報の発信の仕方をやっていければと思います。</p> <p>ハード整備についてはもう再三の話になりますけれども、今後議論が上がっていくのかなという風に思います。</p> <p>どちらにしろ、また繰り返しになりますけども、市役所のサービスは開始されても、誰も使わなかったらなくなってしまっているので、民間の方もなるべく声をかけていただいて、友達と一緒に使ってもらおうとかですね。そういった方法で、ご支援いただけるように、周知徹底が図られればいいかなと思います。</p> <p>議長</p> <p>はい、ありがとうございます。それでは、8番目のコメントに対しまして、何かございましたら、よろしいでしょうか。はい、では、最後の9番目のコメントについて願います。</p> <p>事務局</p> <p>はい、9番目は、住民自治・住民参加についてというところで、環境整備として、コミュニティセンターの充実に関してのご意見です。</p> <p>4-6-3 住民自治・住民参画 について。</p> <p>「環境整備としてコミュニティセンターの充実」に関しての意見。</p> <p>当コミュニティは、本年度の4月から楠風館指定管理者となり、事務所を楠風館の一角に移転しました。旧事務所が老朽化・駐車場がせまいという理由からでした。</p> <p>現事務所（展示異質横の体験コーナー）は、五町田地区内の位置から見ると、五町田地区のはずれとみることができます。高齢の方でも気軽に出入りするには、距離的にハードルが高いと思います。</p> <p>従って、地域コミュニティ事務所の建物は、できたら地域内の多くの住民が集まりやすい場所にある方がよいと考えます。</p> <p>楠風館指定管理期間の3年間は、現事務所でコミュニティ運営にあたりますが、現時点で下記のような課題を感じています。</p> <p>◇ 各種会議を行う場合、楠風館にはイス・机で使用できる部屋が1つしかないのので使い勝手が悪い。10名前後の会議は、事務所（体験コーナー）横の調理実習室に机を並べて実施しておりますが、部会の話</p>
--	--

		<p>し合いを行う場合は、密になりコロナ対策が難しいのである程度広い部屋が必要である。</p> <p>◇ 総会等大勢の出席者が入れる部屋を楠風館で行う場合、第1和室・第2和室で畳に座って話し合いをせねばならず、高齢の方や障害がある方・区長等のシニア世代にとってはきついと思われる。</p> <p>◇ コミュニティ事業で使用する、様々な用具類を保管する場所がない。やむなく防災倉庫内に置いている状態である。</p> <p>楠風館の指定管理の延長をしない場合もあるので、新しい五町田地区地域コミュニティ事務所の建設について、ぜひ検討をお願いしたい。という風な意見でした。</p> <p>これは、コミュニティの関係者の方からのご意見だったんですけども。まず場所については、五町田区の外れという風に書いていらっしゃいますけれども、五町田区の外れではありますけれども、五町田小学校区から見るとですね。そんなに外れじゃなくて、ほぼ、中心部に近いところで、人口の偏りとか見てもそんな悪い場所じゃないのかな、という気がしております。場所は、国道と県道がクロスする付近にありますし、駐車場も広がったことを考えると、遠くから老人の方が歩いてこられるのは遠いかと思いますけれども、それを言うてしまうと、市内全域に当てはまることでもありますし。また、デマンドタクシーの実験も塩田地区で始まるということですので、その辺りは解消されてくるのかなと思っています。またですね、会議室については、不便なところもあると思いますけれども、例えば、広い和室のところに和室用の机と椅子を置いてしていただくとか言うことが考えられますので、そのあたりは、コミュニティの方で工夫されたらどうかと思うという風な担当の答えでした。また、備蓄倉庫についても、全然場所はあるので、倉庫を増やしてもらうのも可能ですよ、ということでした。必要備品を整理された上で、なお、収納場所に困るようであれば、コミュニティの予算中で買っていただいても全然いいんじゃないだろうか、ということでした。</p> <p>将来的な事務所の建設ってということで考えるとですね。広い会議室が欲しいということでおっしゃってますけども、あるところで工夫するってところが基本的なところかなと思います。けれども、財源とかも含めてですね、場所の問題もありますけれども、今後ですね「コミュニティセンターの整備・充実」という項目がありますので、時間はかかると思いますが、もう少し使い勝手の良いコミュニティセンターの姿を探っていけたらな、という風には思っているということでした。</p>
議長		<p>はい、ありがとうございました。9番目のコメントについて、ご説明いただきました。この点につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら。</p> <p>ございませんでしょうか。はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、終わりましたので事務局にお戻します。</p>
事務局		<p>はい、ありがとうございます。それでは、ご議論いただいたようなことを踏まえて担当課に伝えるとともに、お配りしているパブリックコメントの返答の部分も修正してホームページで公表するようにしたいと思います。</p> <p>この後、みなさま方のご意見を基に、市長に戸田先生の方から総合計画案の答申ということでさせていただくような形になります。</p>
事務局		<p>皆さんご議論ありがとうございました え、皆様の任期につきまして</p>

	<p>は、ここで一旦終了ということになりますが、これからも、嬉野市の市政についてのご意見を寄せていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これで第4回の総合計画審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
その他	なし